

～動物のからだのつくりとはたらき～

**はたらく細胞・はたらく臓器**

単  
元  
名

教科書出版社名 ( 東京書籍 )

○ 中学校 ( 2 ) 年 教科等 ( 理科 )

○ 「自ら学ぶ子どもの育成」に向けて、この単元で付けたい力

(教科等で付けたい力)  
生命を維持するためのからだの構造やはたらきについて、しくみや関係を理解し、わかりやすく図で表現したり、説明したりする力や、進んで探究しようとする態度。

(学校図書館等の活用で付けたい力)  
目的に応じて集めた情報を整理し、わかりやすくまとめて伝える力。

○ この単元における学校図書館を活用した情報活用能力の育成に向けて

- 情報収集…目的に応じて必要な情報を複数の情報源 (書籍資料やタブレット端末) で調べる。
- 整理・分析…課題を解決するために調べたことを情報カードにまとめ、情報を整理する。
- まとめ・表現・発信…整理した情報をもとに、表現や構成を工夫してキャラクターカードを作成し、披露する場を設定する。

○ 学習の展開 (全 6 時間) (学校図書館等を活用した時間は☆印にて記入してください)

第 1 時	消化のしくみについて知る ～どのような過程で消化され変化していくか (消化酵素・消化液) ～
第 2 時	吸収のしくみについて知る ～どのように吸収されていくか (小腸・柔毛・リンパ管・血管・大腸・便) ～
第 3 時	血液のはたらきについて知る ～養分はどのようにとり入れられ、届けられるのか (肺・心臓・血液) ～
第 4 時	排出のしくみ (腎臓・肝臓) について知る ～生命活動でできた物質はどのように排出されるか (肝臓・腎臓・膀胱) ～
第 5 時☆	学習後、興味を持った細胞・臓器のはたらき (他の動物も可) についてまとめたり調べたりして、キャラクターカードを作成する。
第 6 時	作成したカードを紹介しながら、図書室の巨大模式図にカードを貼っていく。

はたらく細胞・臓器  
(人間 version)

名前

働き

出典

はたらく細胞・臓器  
(人間以外 version)

名前

働き

出典

(本時 5 / 6 時)

☆学校図書館等活用(本時)の学習

本時のねらい  
学んだことを伝え合えるように、調べた情報を整理して、キャラクターカードを作ろう。

学習展開

時間(分)	主な学習活動	指導上の留意点
5分	<b>1. 本時のめあてを確認する。</b>	
	<b>学んだことを伝え合えるように、調べた情報を整理して、キャラクターカードを作ろう。</b>	
10分	<b>2. 前時の学習を復習する。</b>	
15分	<b>3. 興味を持った細胞・臓器のはたらき(ヒト以外の動物も可)についてについて調べる。</b> A 消化系(消化酵素・消化液) B 吸収系(小腸・柔毛・リンパ管・血管・大腸・便) C 運搬系(肺・心臓・血液) D 排出系(肝臓・腎臓・膀胱・尿・便) E その他	複数のメディアから興味を持ったテーマについて調べさせ、思考ツールを活用して情報を整理させる。 ・様々な情報をどう整理すればよいかという課題を生徒から引き出し、情報を整理する必要性を感じさせる。
15分	<b>4. 調べた内容を情報カードにまとめる。</b>	・得た情報をもとに、ピラミッドチャートに整理して、細胞や臓器の働きについてわかったこと、考えたこと、伝えたいことをカードにまとめさせる。
5分	<b>5. 作成したまたは作成途中のカードを班の中で共有し、改良を加える。</b>	・対話することで相手に伝わりやすくするために補足すべき内容に気づかせ、自分が調べた情報をより一層深めるよう促す。

図書館活用  
ポイント